キャラクター名	プレイヤー名
明佳　未来（あすか　みらい）	

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	島民
オプショナル		年齢	２６	性別	女

覚醒	償い	衝動	自傷	初期侵食率	38 %
出自	天涯孤独	経験	大失態	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	0			3
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	16
(非装備時)	16
戦闘移動	21
全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避	1		知覚	3		意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識 ：知識:レネゲイドビーイング	1		情報：UGN	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
風俄・葬流「花吹雪」	ＲＣ	6r+4		１２		ドッジを行えない。装甲無視。命中した場合対象に放心と判定ダイス-3与える。
(80) 風俄・葬流「浮遊桜」	ＲＣ	8r+4		１２		ドッジを行えない。装甲無視。命中した場合対象に放心と判定ダイス-3与える。
(100) 風俄・葬流「儚無みずき」	ＲＣ	10r+4		１５		ドッジを行えない。装甲無視。命中した場合対象に放心と判定ダイス-4与える。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：　0　合計回避：　0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
デスペラードの真実	P　尊敬	N　悲痛		
島民	P　庇護	N　不安		
神刈　和孝	P　尊敬	N 疎外感		
レナード	P 連帯感	N　隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　6　残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
①サイレンの魔女	4	5	メジャー		シーン選択	ＲＣ		
効果：攻撃力+ｌｖ*3（１２）の装甲無視。コンセントレイト組み合わせ不可。								
②アースシェイカー	3	2	メジャー			ＲＣ		
効果：命中した場合、そのラウンドの間、対象の判定ダイスを-ｌｖ個								
③疾風迅雷	2	3	メジャー			シンドローム		
効果：1シナリオにｌｖ回。組み合わせた攻撃にドッジを行えない								
④先手必勝	3		常時		自身			
効果：行動値を+ｌｖ*3する。基本侵蝕値+4								
⑤ブレインシェイク	1	2	メジャー			シンドローム		
効果：攻撃が命中した場合放心を与える。								
⑥バトルビート	3	2	マイナー		自身			
効果：メインプロセスの間判定のダイスを+ｌｖ個する。								
蝙蝠の耳	1							
効果：音を聞き分ける。盗聴用								
無音の空間	1							
効果：気配を殺す。諜報活動用。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「紬ぎ奏で、未来を照らす！あいつが目指した未来を、想いを消させたりしないし！！」

　元UGNで神刈和孝(残火pc3)の部下。12年前のデスペラードと和孝が戦っている間（和孝の任務は知らない）、民間人の救助を行っていた。自らは逃げ遅れてしまい、爆撃に巻き込まれる。そしてラビットフットに助けられ島にたどり着く。今はデスペラードへの誤解も解け、彼の守ろうとしているこの島の住民を守りたいと思い、島に残ることを決意。
　和孝の事は嫌いではなく上司としては好意を持っていたが、プライベートはあまり話さなかったということもあって人としてどこか遠い人に感じていた。しかしどこか彼に憧れる部分もあり。自身の技も彼をモデルにしようとしているところもある。
性格はややお調子者で楽観的。軽いようだが物事はしっかりと考え行動する。いわゆるギャルみたいな感じ。
　彼女の技は和孝にあこがれがあるもののそれは殺しの技である。優雅に葬る和孝と違い、ただ殺すことだけに特化した技である。意味合いとしては「風のように、あるがまま殺す」
しかし彼女はデバフ型である。もう一度言おう、デバフ型である。

「てなわけであーしの目が黒いうちはこの島で好き勝手させないよ。」
「あがいてあがいて、じたばたしてみたらさ。そうすればすこし前に進んでるかもしんないっしょ。」
「消えることは償いじゃないよ。 生きている中で失ったものは、 生きてしか取り戻せないんだよ」
「想いは…死なないし！」

そんな彼女だがＵＧＮに所属する前は戦争孤児だった。戸籍もなく生きている証が存在していなかった。故に『忘れられた子ども』。今の名前もＵＧＮに入る時に付けてもらったものである（余談だが名付けたのはUGNで研究員をしていた奏のお母さんである）。少年兵として育てられていく中多くの友人ができては亡くなった。だからこそ誰よりも命の重さを知っている。自分という存在が様々な命の犠牲で成り立っていることも知っている。それが知らない人であろうと、自分がかかわった人物が死にそうなら彼女はきっと手を差し伸べるだろう。（ただし島からでないため結局島民に限定されている。）